

# 武石地域総合センター建設基本構想

## 概要版

平成29年8月

長野県上田市

# 1 武石地域総合センター整備の背景

## 【経緯】

昭和 36 年 武石地域自治センター建設  
昭和 48 年 武石公民館建設（コミュニティホールは平成 4 年建設）  
昭和 48 年 武石老人福祉センター寿楽荘建設  
昭和 55 年 武石健康センター建設  
平成 21 年～平成 22 年 武石地域自治センターの耐震診断実施

### 耐震診断結果

「地震の震動に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。」

平成 28 年 3 月 上田市公共施設マネジメント基本方針

公共施設のあり方の見直しによる総量の縮減  
公共施設の統廃合などを検討した施設整備  
公共施設の集約化とネットワーク化によるコンパクトシティの推進

平成 29 年 武石地域総合センター整備検討委員会設置

武石地域総合センター建設を検討

## 【武石地域自治センター周辺の公共施設の耐震性】

### 耐震性がない又は新耐震基準を満たしていない可能性がある施設

武石地域自治センター、武石公民館（コミュニティホールを除く）、武石健康センター  
武石老人福祉センター寿楽荘

### 新耐震基準を満たしている施設（昭和 56 年 6 月以降の建設）

武石公民館コミュニティホール、武石診療所、武石デイサービスセンターやすらぎ、武石保育園

## 【武石地域自治センターの施設・設備】

建物や、電気・給排水設備等の老朽化  
省エネルギーのための取り組みや環境への配慮

大規模改修や設備等の更新が必要

耐震化・大規模改修をしても耐用年数は伸びない

## 【各施設が抱える問題点】

窓口：住民サービス部所が分散（武石地域自治センター、武石健康センター）

利用者の移動や電話のかけ直しなどサービスに支障

カウンターの形状や相談室が少ないなど、プライバシーへの配慮が不十分

バリアフリー：スペースや構造上の理由により対応が不十分

事務室：窓口の集約を行うための適切なレイアウトができない

その他：武石老人福祉センター寿楽荘・・・常駐職員不在

自由に使用できない

管理運営上の問題がある

個々に改修しても問題の解決にならない

## 【武石地域総合センター整備に関する上位計画】

新生上田市建設計画

第一次上田市総合計画後期基本計画

第二次上田市総合計画

上田市地域防災計画

上田市耐震改修促進計画

上田市公共施設マネジメント基本方針

施設の改築が必要

## 2 武石地域総合センター建設の基本方針

### 【基本方針】

#### ① 集約の範囲

武石地域自治センター、武石公民館、武石健康センター、武石老人福祉センター寿楽荘を集約  
武石公民館コミュニティホールや武石地域自治センター駐車場など既存施設を活用

#### ② 建設の位置

現在の公民館敷地とする

#### ③ 市民の利便性向上・機能の集約

適正な施設規模・限られた財源の範囲内での整備

#### ④ 次の6つの視点に基づいた機能・設備整備の検討

市民が出会い、協働の場となる施設

市民が利用しやすく市民サービスを向上させる施設

安全・安心を守る防災の拠点となる施設

環境と景観に配慮した施設

機能性に優れ、変更柔軟に対応できる施設

ライフサイクルコスト( )を縮減し、既存ストックを活用したコンパクトな施設

ライフサイクルコスト・建設コストだけでなく維持管理や廃棄のコストも含む生涯費用

### 【武石地域総合センターの機能】

#### 総合支所機能

地域の防災復興拠点としての防災機能

#### 事務機能

多目的機能を備えた複合施設機能

市民協働のまちづくりを推進する地域コミュニティ拠点

生涯学習の実践機関としての公民館機能

図書室・学習室機能

地域の健康・保健・福祉・高齢者対策の総合支援機能

#### 付帯機能

市民が気軽に利用できるスペース

にぎわいの創出のできる広場

#### 施設設備の考え方

ユニバーサルデザイン

経済性・効率性

環境負荷の低減

地域の特性と景観への配慮

### 【規模】

地域の人口規模から川西地域自治センター・公民館を基準とします。

総合支所機能を維持し、各種業務に必要な職員数に対応する執務室を確保します。

市民の利便性の向上を図る、複合施設としての役割を果たすための規模を要します。

基本構想における武石地域総合センターの規模はおよそ **2,300㎡～2,500㎡** とします。

## 3 事業費及び財源、スケジュール

### 【事業費及び財源】

事業費・概算事業費は、約10億円を見込み可能な限りコスト削減に努めます。

(設計・施設建設費・既存施設解体・外構・車庫整備等)

財源・主に合併特例債及び公共施設等適正管理推進事業債(集約化複合事業)補助金を活用

### 【スケジュール】

平成29年度基本計画の策定、基本設計、その後計画を進め平成33年度末までにすべての整備完成をめざします。

